

SHINING WOMAN  
#cancerbeauty

PINK RIBBON  
女性のからだだとセクシュアリティ

主催 岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」



2021 さんかく岡山ギャラリー  
殿村任香写真展 10.8 FRI - 25 MON

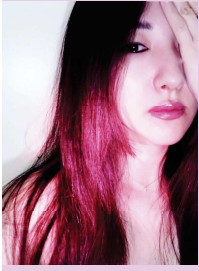
©Hideka Tonomura

10月は乳がん撲滅のための啓発月間。

「さんかく岡山」では、国内外で高く評価されている気鋭の写真家、殿村任香氏によるがんと闘い向き合う女性のためのプロジェクトに賛同し、殿村氏ご協力のもと、このたび岡山で初となる写真展を開催いたします。本展では、この“SHINING WOMAN PROJECT”をお伝えし、女性が生きやすい社会を実現したいという願いを込めて、7作品をご紹介します。

Hideka Tonomura

殿村 任香



写真家 / Photographer

1979年生まれ。2008年、「母恋 ハハラブ」を赤々舎より出版し、鮮烈にデビュー。

以後著作に、「ゼロドゥミーユカ」(2013年、Zen Foto Gallery)、「orange elephant」(2015年、Zen Foto Gallery)、「cheki」(2018年、Morel Books/イギリス)、「焦がれ死に die of love」(2018年、Zen Foto Gallery)、「SHINING WOMAN #cancerbeauty」(2020年、Zen Foto Gallery)、「mama 恋 love」(2021年、Zen Foto Gallery)がある。

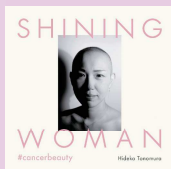
2019年には、がん闘闘向き合う女性のポートレートプロジェクト「SHINING WOMAN PROJECT」@shining\_woman\_projectを立ち上げ活動を続けている。

国内のみならず海外での活躍も目覚ましく、2016年には香港のBlindspot Galleryにて開催された「Shikijo: eroticism in Japanese photography」展、2018年5月にはロンドンのDaiwa Foundation Japan House Galleryにて開催された「Double Method」展などに参加。2022年には、パリのヨーロッパ写真美術館で開催予定の展示にも作品出品を予定している。

SHINING WOMAN PROJECT について



↑ Instagramはこちら



↑ 写真集の販売情報はこちら

事業協力 Zen Foto Gallery <https://zen-foto.jp/book/shining-woman-cancerbeauty>

殿村任香写真展 10/8-25

10.8 FRI 18:00-19:00

Zoom オンライン ギャラリートーク 先着30名様 参加無料

殿村 任香氏をお招きして 作品のお話をうかがいます。

お申込み方法 メールのみ

E-mail:sankaku@city.okayama.lg.jp お名前と携帯電話番号を明記してください。

会場&お問合せ

さんかく岡山 岡山市男女共同参画社会推進センター 岡山市北区表町3丁目14番1-201号 TEL 086-803-3355 (火曜休館)

女性にとって 当たり前な権利  
一生元気に 楽しく生きるための リフレ

2021.10-2022.3

さまざまな角度から女性の健康を支援します。

「さんかく岡山」では、ジェンダー平等を目指し、「性」を取り巻くカルチャーを変えるための取り組みを進めています。

“SHINING WOMAN #cancerbeauty”

女性にとって、子宮、乳房、卵巣、髪を失う事は深い深い悲しみです。

絶望と発狂。

出産を夢みる若い女性。不妊治療をしている女性。

がんになり、子宮、卵巣、乳房を失うと同時に、自分の子どもを産むという夢までも失う。

女性のシンボルを失う恐怖と向き合う事は、女性性の死を予感させる。

その恐怖を受け入れる事との、地獄の対話。

それでも女性達は、口紅をひき、素敵なお洋服を身に纏い、ウィッグを着用し、戦場である、下界に出ていく。

言葉の暴力と偏見。

無意識とは本当に恐ろしいもの。

卑劣な言葉に対し、人を憎んでしまう事への失望。

でも、私も同様に卑劣な言葉を無意識に使っているかもしれない。

同じ女性として、自分にも起こりうる事。

そして、男性も大切な人に起こりうる事。

女性のがんだけでなく、がん患者に対する概念を変えたい。

女性達が生きやすくなる世の中になって欲しい。

変わらぬ大切な日常として、外界に出れるよう。

乳房、子宮、卵巣、髪を失っても言葉の暴力に合わぬよう。

女性性は臓器によって、決められるものではない。

全ては生きる事を選択した証。

女性はいつだって、どんな絶望でも受け入れ、美しくいる事の強さがある。

輝くという本当の意味を知っている。

命と闘える力がある。

子供の成長を見届ける事が夢だという女性。

大人になって恋愛する事が夢だという女性。

Life is beautiful.

Anytime,

Anywhere,

Any case.

命の芯はいつだって美しい。

女性達は輝いている。

—Hideka Tonomura 殿村任香

- JR岡山駅から…南東へ1.5km 徒歩約20分
- 路面電車<清輝橋行>新西大寺町筋下車、新西大寺町商店街を東へ徒歩約1分
- 天満屋バスステーションから南へ約500m 徒歩約7分
- 契約駐車場はございません。

